

このメールは当協会会員に登録されている方、当協会職員と名刺交換いただいた方、当協会主催の事業にご参加された方に配信しております。  
今後配信を希望されない方は、お手数ですが[メール配信の停止]より配信停止の手続きをお願い申し上げます。

<目次>

▼最近の動向から▼

第 126 回 「外航船社間協定等に関する独禁法適用除外制度」

▼経済産業省からのお知らせ▼

「日フィリピン EPA の見直しに係るアンケート」のお願い

▼大会・展示会▼

【01】～身近な改善事例をお気軽にご応募ください！～  
「全日本物流改善事例大会 2011」発表者募集中

▼講座・セミナー・研究会▼

【01】～2011年度より、カリキュラムが新しくなります！～  
「物流技術管理士資格認定講座 新カリキュラムのご案内」

【02】～人材育成は、企業の盛衰を決める最大の経営戦略～  
「物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011（速報版）のご案内」

【03】～ITが物流センターを変える～  
倉庫作業生産性向上のための  
「WMS（倉庫管理システム）構築セミナー」

【04】～3日間で環境負荷低減の基礎知識を体系的に学ぶ～  
「第8回グリーン物流基礎コース／東京」

【05】「物流ABC活用による物流作業料金の決め方」セミナー／東京

<<配信停止、変更の手続きは末尾をご参照ください>>

▼最近の動向から▼

★

■最近の動向から（第 126 回）■

>>外航船社間協定等に関する独禁法適用除外制度<<

★

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

厳しい経済環境の下で、我が国企業のグローバル展開に一層拍車がかかっていますが、グローバル展開を検討する際の基本要件の一つであるサプライチェーンコストについては、その情報収集が一層難しくなっています。

外航海運では、かつての海運同盟運賃やその後の船社間協定等によって荷主は市況水準を判断することができ、船会社は安定的で健全な事業環境と良質なサービス

の維持、適切な船舶・設備投資の実施に貢献してきました。また、グローバルネットワークを1社で構築することは困難ですので、自ずと他の海外海運会社とのアライアンスも必要になっており連携に伴う協定運賃も不可欠です。さらに、同盟・協議協定が適用されない場合に発生する問題は、日中航路でのゼロ運賃やマイナス運賃問題に端的にみることができます。

しかし、外航定期海運については、すでに、欧州委員会が、2008年10月には欧州航路について独禁法適用除外制度を全面的に廃止しており（規則4056/86）、同様の施策を支持する意見が国内にもあります。

他方、米国では、独禁法改革委員会（AMC）が適用除外制度（OSRA：1998年改正海商法）の見直しを行い、2007年4月に「適用除外とする理由がない」との見解を示しましたが、現在まで米国政府による具体的な動きは見られません。

シンガポールでは、2004年競争法について外航定期船社間協定を適用除外とする措置が2006年7月に実施されましたが、同措置は、この年末までの期限付き適用除外となっています。

我が国では、2006年12月に公正取引委員会が独禁法適用除外の理由がなくなったとの見解を示し、所管の国土交通省の交通政策審議会海事分科会では、「利用者からの大きな不満はみられない」として2007年に継続検討の方針を示して今日にいたっていますし、今年の5月26日の国土交通省の外航海運検討会報告書においても「議論の整理」が必要との指摘にとどまっています。

一方、航空については、世界各国の主要航空会社が、航空貨物輸送に関わる価格カルテル等に関連して欧州及び韓国当局の調査を受け、課徴金を課せられ、利用運送事業者にも同様な措置が適用されようとしています。各国政府が、実態をふまえて、コンプライアンス不況を起こさないように、冷静に対応するようにお願いしたいものです。

国土交通省の外航海運検討会報告書は、下記サイトを参照の事。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01\\_hh\\_000056.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01_hh_000056.html)

付録：APEC追加情報

前回紹介したAPECの英語版ホームページには、サプライチェーンの円滑化を促進するために、APEC各国のロジスティクスに関連する規制情報の下記リンクサイトを設けています。全ての国が網羅されているわけではありませんが、各国物流情報の収集に活用して下さい。

<http://www.logistics.apec.org/>

【問合せ先】JILS 総研 吉本 yoshimoto@logistics.or.jp

▼経済産業省からのお知らせ▼

★

■「日フィリピンEPAの見直しに係るアンケート」のお願い ■

★

我が国とフィリピン政府との間の経済連携協定（EPA）について、経済産業省から標記の調査依頼がありましたのでご案内いたします。

下記ページに資料を掲載しておりますので、関係企業等の方はご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/search/EPA.html>

※回答方法、問い合わせ先等も記載しております。

▼大会・展示会▼

★

～身近な改善事例をお気軽にご応募ください！～

■全日本物流改善事例大会 2011 ■ 発表者募集中！

★

## 【募集内容】

全日本物流改善事例大会は、優れた物流改善の事例を発表し、合理化の手がかりやノウハウを物流の実務者同士が共有し合う交流の場です。ちょっとした工夫や、さりげない努力、すぐに現場で活用できそうな改善成果の事例等を気軽にご応募ください。

応募事例の中から選考された「優秀事例」は、全日本物流改善事例大会2011にてご発表いただきます。発表者にはクリスタルが授与されるほか、特に優れた内容には、実行委員会で審査のうえ、「物流合理化賞」が贈られます。物流現場や部門の方々からの積極的なご応募をお待ちしております。

※当会HPに、2010年度（前回）物流合理化賞・物流合理化努力賞を受賞された5つの改善事例を掲載しております。是非ご覧ください。

## 【募集領域】

発表いただく改善対象領域の範囲により、物流センター等での現場改善を対象とした「物流業務部門」と運営・管理部門での改善を対象とした「物流管理部門」からのエントリー方式にて募集いたします。

【応募締切日】2011年1月21日（金）

## 【全日本物流改善事例大会2011開催要領】

会期：2011年4月19日（火）

会場：国際ファッションセンタービル（東京都・墨田区）

【問い合わせ先】普及開発部 松井

e-mail：matsui@logistics.or.jp

TEL：03-5484-4021

■応募の詳細等は下記URLをご確認ください。

[http://logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/zennihonkaizen2011\\_hb.html](http://logistics.or.jp/fukyu/experience/convention/zennihonkaizen2011_hb.html)

## ▼講座・セミナー・研究会▼

★

～2011年度より、カリキュラムが新しくなります！～

■ 物流技術管理士資格認定講座 新カリキュラムのご案内 ■

★

物流技術管理士資格認定講座は、物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクス・サプライチェーンマネジメントの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ講座です。

この度、受講者、講師、企業のニーズを伺い、カリキュラムを改訂しました。

2011年度より、新しいカリキュラムの物流技術管理士資格認定講座がスタートします！

## <主な改訂事項>

### ●重要テーマの単元化・追加

1) グローバルロジスティクスの講義内容の拡充

→【第10単元 グローバルロジスティクス】として単元化

2) コンプライアンス、法制度等、CSRに関する講義の追加、拡充

→【第2単元 ロジスティクスの社会的役割】として単元化

3) 「物流アウトソーシングと3PL」および受託委託における契約についての講義の追加

→【第11単元 物流アウトソーシングと3PL】として単元化

4) ロジスティクスネットワークに関する講義の追加

→【第1単元 経営とロジスティクス】に追加

### ●プレミーティングの変更

- 1) 開始時刻・終了時刻の変更
  - \* グループ演習に取り組む時間が長くなります。
- 2) 懇親会の実施
  - \* 1日目のグループ演習終了後に、懇親会を実施します。
  - \* 受講者同士でコミュニケーションを図り、人的ネットワークを形成していただきます。
- 3) 合宿演習ではなくなります。

新カリキュラムの詳細は下記 URL の PDF ファイルをご覧ください。

<物流技術管理士資格認定講座のご案内>

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#clm>

- ◆例年どおり、年間6期開催です（東京3期、大阪2期、名古屋1期）。
- ◆開講時期・日程につきましては、2011年1月にご案内いたします。
- ◆講座に関する詳細な説明をご希望される方、また、ご質問等がございましたら、下記、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

【問い合わせ先】 人材教育部 e-mail : [education@logistics.or.jp](mailto:education@logistics.or.jp)

★-----

～人材育成は、企業の盛衰を決める最大の経営戦略～

■ 物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011（速報版）のご案内 ■

★-----

ロジスティクスの高度化による企業競争力を強化するためには、物流・ロジスティクス関連の業務を担う従業員を、体系化された人材育成計画のもとで継続的に育成し、自社の「人材力」を高めていくことが重要となります。

当協会は、この度、「物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011（速報版）」を作成しました。詳細は下記 URL の PDF ファイルをご覧ください。

<物流・ロジスティクスにおける人材育成支援ガイド2011（速報版）>

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/index.html>

【問い合わせ先】 人材教育部 e-mail : [education@logistics.or.jp](mailto:education@logistics.or.jp)

★-----

～ITが物流センターを変える～

倉庫作業生産性向上のための

■ 「WMS（倉庫管理システム）構築セミナー」 ■

★-----

本セミナーでは、物流センター内の作業生産性の向上と目的とした倉庫管理システム（WMS=Warehouse Management System）の設計、コストと効果の測定から導入、現場への定着化までを詳しく解説いたします。

また、最新の情報関連機器やインフラについても言及し、ITがどのように物流センター内業務を効率化していくのかを明確に示します。

【会 期】2011年1月26日（水）10:00～16:30

【会 場】三田 NN ホール スペースD（港区芝）

【参加料】36,750 円（JILS 会員）／ 52,500 円（JILS 会員外）

【講 師】藤巻 二三年 氏 （株）日本ロジスティクス研究所 代表取締役

■詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/seminar.html#1>

★-----

～3日間で環境負荷低減の基礎知識を体系的に学ぶ～

■第8回グリーン物流基礎コース／東京■

★-----

【対象】物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策の基本的な知識を体系的に習得されたい方

本コースは、物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減施策の基礎知識を、「輸配送」「包装」「静脈物流と廃棄物削減」のそれぞれの観点について、理論と実務の両面から学ぶことができます。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【会期】2011年2月23日(水)・3月4日(金)・3月10日(木)(3日間)

【会場】タイム24ビル 研修室205(東京都江東区)

【定員】50名

【参加料】84,000円/JILS会員、99,750円/JILS会員外(いずれも税込)

\*有資格者優待(フォローアッププログラム)

「ロジスティクス経営士」「国際物流管理士」「物流技術管理士」資格を持つ方がこのコースに参加する場合、優待料金(67,200円)が適用される。

\*本コースの参加特典として、CD-ROM「グリーンロジスティクス支援ツール集」を無料進呈いたします。

※プログラムの詳細は下記URLをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html#glbsc>

★-----

■物流ABC活用による物流作業料金の決め方」セミナー／東京■

★-----

本セミナーでは、物流ABCを導入・活用することにより、物流改善を促進する公正妥当な物流作業料金決定の方法について、講義と演習によって習得していただくことをねらいとしております。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

【会期】2011年1月18日(火)～19日(水) 10:00～17:00

【会場】タイム24ビル 研修室205(東京都江東区)

【定員】30名

【参加料】63,000円/JILS会員、84,000円/JILS会員外(いずれも税込)

【講師】野田 洋史氏 HI研究所 代表

        宍戸 哲哉氏 (株)オムニ ロジスティクスソリューション室 室長

※プログラムの詳細は下記URLをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/education/seminar/seminar.html#1>

■=====

発行：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3F

TEL 03-5484-4021 FAX03-5484-4031

<http://www.logistics.or.jp/>

-----